

競技上の注意

I 部

- ① 競技は、公益財団法人日本バスケットボール協会ミニバスケットボール競技規則に準じて行います。また、プレイコーリングガイドも適用します。
- ② ベンチに入れる人数は、チーム責任者1名、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名、選手15名、計19名とします。※学校関係者（校長や担任）が20名としてベンチに入るときは、本部に許可を取ります。
- ③ クォーター・タイム、チャージド・タイムアウトの1分間は、時間を厳守してください。その際、選手をコートの外に出してください。また、選手の水分補給の際、コート内にこぼさないようご注意ください。
- ④ 試合で指揮を執られる方は、コーチID及びコーチライセンス証（E-2級以上）を必ずつけて下さい。ベンチエリア内で指揮を執ることができます。なお、大会カードをつけており、スコアシートにサインした方のみが、立って指揮を執ることができます。
※試合でのコーチライセンスの確認は1日目の指導者ミーティングで競技部が行います。
※応援者は、会場において決められた場所での応援とします。
- ⑤ ディフェンスは、マンツーマンディフェンスの基準規則に則ります。

II 部

- ① 競技は、公益財団法人日本バスケットボール協会ミニバスケットボール競技規則に準じて行います。プレイコーリングガイドも適用します。また、以下のローカルルールを採用します。
- ② 登録選手全員が、1試合中1クォーター以上出場することを原則とし、できるだけ多くの選手に出場機会を与えることとします。
※学校関係者（校長や担任）が20名としてベンチに入るときは、本部に許可を取ります。
- ③ 競技時間は、5分－（1分）－5分－（5分）－5分－（1分）－5分とします。
- ④ **タイムアウトは、各クォーター両チームに1回認められる。交代もその時に両チームに認められます。**
- ⑤ 試合で指揮を執る方は、コーチID及びコーチライセンス証（E-2級以上）を必ずつけること。ベンチエリア内で指揮を執ることができます。なお、大会カードをつけており、スコアシートにサインした方のみが、立って指揮を執ることができます。
※試合でのコーチライセンスの確認は1日目の指導者ミーティングで競技部が行います。
- ⑥ ディフェンスは、マンツーマンディフェンスの基準規則を採用するが、コミッショナーは置きません。
- ⑦ 延長戦は行いません

競技に関わる手続き等

- ① 各チームのコーチは、試合開始 5 分前までにスコアシートへのサインをオフィシャル席にて行って下さい。

※相手チーム及びT0へのメンバー表の提出は必要ありません。

- ② 組み合わせ番号の若いチームは、オフィシャル席に向かって右側のベンチとし、原則としてユニフォームは淡色（白色）とします。
- ③ メンバーは、パンフレットに記載されているメンバーとします。ただし、メンバー変更がある場合、**大会初日にメンバー変更届を本部に提出した者のみ**、メンバー登録の変更を認めます。**提出があった変更届は、会場本部担当が、会場にて掲示します。**
- ④ 試合コートでの次の試合のチームの練習は、前の試合の終了後に行ってください。前試合のハーフタイム中は、練習を認めません。
- ⑤ 前試合が早く終わっても、予定時刻どおり試合を行います。ただし、予定時刻より遅れた場合は、前試合の終了後 10 分間の間隔を置きます。
- ⑥ 各チームの応援マナーについても十分指導をお願いします。
(相手チームを中傷する応援、手すりに物をぶつけてする応援、フリースロー時など)